

平成 29 年 11 月 16 日（木）・17 日（金）三重県津市の三重県総合文化センターで、標記大会が開催されました。青森県からは、青森 川村仁先生、八戸 小池智彦の 2 名の参加。一日目は全体会で、開会式のあと文部科学大臣表彰の表彰式が行われました。平成 29 年度は八戸学校薬剤師会の小ケ口節子先生が学校保健・学校安全でのご功績が認められ表彰の栄に浴されました。続いて行われた記念講演は「学校事故対応に関する指針とこれからの学校安全」と題し東京学芸大学教育学部の渡邊正樹 教授のお話で、学校における危機管理の考え方、危険をいち早く発見して事件・事故の発生を未然に防ぎ、児童生徒らはもちろん、教職員自身の安全も確保することと、万が一、事件・事故が発生した場合には適切かつ迅速に対処を行い、被害を最小限にとどめ、事後措置も怠ることのないように対応することや事故対応の課題、教職員に求められる危機管理能力や学校安全の取組の視点などが詳しく説明されました。学校薬剤師にとっても学校訪問時には、グラウンド、建物の中あちこちの安全確認をすることの重要性を強く感じました。

二日目は、課題に基づいた提案、研究協議、指導助言及び講義を行うことを趣旨とした課題別研究協議会が 10 の課題に分かれて行われました。第 6 課題の学校環境衛生では、3 人の教諭・薬剤師による研究発表があり、各学校における実践・学校薬剤師会の取り組みがわかりました。最後に「学校環境衛生基準」を踏まえた学校環境衛生活動の進め方と題した岐阜薬科大学 永瀬久光教授の講義があり、学校薬剤師の職務から学校環境衛生の重要性まで直接知る非常に貴重な機会となりました。今後も学校薬剤師の学校環境衛生活動は、地味で人の目に触れないところでの検査など、目立たない活動ですが、快適な学習環境を維持提供するために頑張りたいと考えます。

来年度次期開催県は、鹿児島県鹿児島市で 10 月 25 日 26 日です。

また、第 67 回全国学校薬剤師大会は、平成 29 年 11 月 16 日（木）日薬・三重県薬の主催で三重県津市のホテルグリーンパーク津で開催されました。開会式のあと日本薬剤師会学校薬剤師賞の表彰式が行われました。続いて行われた雅楽の演奏では、古代の大陸文化が今日まで伝えられていることや特別講演「伊勢志摩サミットと伊勢の大神宮」と題し皇學館大學名誉教授 岡田登氏のお話では、伊勢神宮の成り立ち、歴史がよくわかる講演でした。